部課名	地域福祉部福祉総務課
課の使命	・誰もが安心して地域で暮らし続けることができるように支援します。 ・地域住民が地域の課題を解決するための仕組みを構築できるように支援します。 ・地域福祉活動への協力者が、円滑に活動できるようサポートします。

実行計画（年度目標）

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化	重点事業プラン	8050問題やダブルケアなど、複雑化・複合化した困りごとを抱えた方が、1箇所の機関でまとめて相談でき、早期に効果的な支援を受けられる体制を整備します。また、ひきこもりなど潜在的な相談者が支援につながる体制を整備します。	①包括的な相談支援体制の構築 ②包括的な相談支援体制の導入地区数	①構築 ②2地区								
2	市民後見人育成の推進	重点事業プラン	地域の実情に即したきめ細やかな支援活動を行うことができる市民後見人の活躍を推進します。	市民後見人受任件数	8件								
3	避難行動要支援者の避難支援体制整備	重点事業プラン	町田市における効果的・効率的な個別避難計画の作成手法を構築し、その内容を反映した「町田市避難行動要支援者避難支援プラン（全体計画）」の改訂を行います。	「町田市避難行動要支援者避難支援プラン（全体計画）」の改訂	プラン改訂								
4	民生委員児童委員の活動しやすい環境整備	—	市内で活躍する民生委員児童委員が活動しやすい環境を整えるための取り組みを提案します。	民生委員児童委員の環境整備の提案件数	3件								

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
5	業務効率化に関する取組	—	係間での連携を強化し、限られた人員・財源の中で、効率的に業務を展開し、時間外業務を削減します。	連携により効率化した業務の実行数	4回								

部課名	地域福祉部指導監査課
課の使命	・社会福祉法人制度に基づき、社会福祉法人及びその設立希望者に対して適正な運営ができるよう指導・助言や支援を行い、地域における福祉サービス水準の向上を目指します。 ・各制度に基づき、福祉サービス事業者に対して適正な運営ができるよう指導や助言を行い、利用者が必要なサービスを安心して受けられることを目指します。

実行計画(年度目標)

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	社会福祉法人及び福祉サービス事業者が適正に運営できるような指導助言の実施	—	社会福祉法人及び福祉サービス事業者に対して、法令や基準等を遵守し、適正な運営を行っているかを確認するための実地指導を行います。	実地指導件数	実地指導193件(法人15件、介護65件、障がい54件、保育59件)								
2	教育・保育施設等が適正に運営できるような新たな指導助言の実施	—	施設自らが、運営状況を確認・点検できる資料を作成します(2023年度以降、その資料を提供し、点検結果を回収することで、施設の規範意識を高め、実際の実地指導に活用します)。	確認・点検できる資料の作成状況	確認・点検できる資料の作成								
3	各社会福祉法人の課題分析	—	法人が安定して運営できるよう、現況報告書から法人ごとの課題を分析します。結果によって特性に合わせた個別指導を実施します。	分析法人数	15法人								

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
4	実地指導の業務効率化	—	実地指導において、重点的に確認する項目を絞る等、効率的に行います。	時間外勤務時間数	30%削減 (2019年度比)								

部課名	地域福祉部生活援護課
課の使命	・最低限度の生活を保障するために、困窮の程度に応じ必要な保護等の支援を行い、自立を助長します。 ・生活困窮状態にある方に対し、生活保護に先立つセーフティネットとして、相談者が目指す生活の実現を支援します。

実行計画（年度目標）

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	生活困窮者等に対する就労に向けた支援の強化	—	・すぐに就労や自立が困難な方に生活習慣の改善支援を行うとともに、就労体験の場などを提供し就労や自立に向けた支援を行います。	①就労準備支援事業の実施 ②就労準備支援事業での支援開始者数	①事業の実施 ②35人								
2	生活保護受給者への健康管理支援	—	・2021年度に配置した看護師とケースワーカーで連携し、成人健康診査の受診を促します。 ・病気を早期発見することにより、的確な医療機関への受診に繋げ、健康管理を支援し医療扶助の適正化に努めます。	40歳以上の生活保護受給者の成人健康診査受診率	36%								
3	学習環境整備支援の推進	—	・町田市進学支援プログラムを積極的に周知を行います。 ・関係機関と連携を図ります。	町田市進学支援プログラム利用率	25%								

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
4	業務の効率化によるワークライフバランスの推進	—	・増加する生活保護受給者に対応するため、業務の効率化を推進し、正職員の時間外勤務を抑制します。 ・時間外勤務の実施状況を「見える化」して、各職員の意識の変化を促す。	正職員の時間外勤務状況（2019年度比）	5,642時間（2019年度比30％削減）								

部課名	地域福祉部障がい福祉課
課の使命	・サービス提供事業所、医療機関等と連携して、障がい者の生活の質を維持・向上させるために支援します。 ・相談しやすい体制を充実することで、安心して地域で生活が送れるよう支援します。

実行計画（年度目標）

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	障がい者差別解消の推進	重点事業プラン	・障がい者差別解消条例制定準備のための検討会を実施します。 ・障がい者差別解消を促進するための講座等を開催します。	①検討会の開催回数 ②条例骨子案の作成 ③講座等開催回数	①3回 ②作成 ③2回								
2	ひかり療育園民営化後の安定的な運営の支援	個別計画	民営化後の生活介護事業の円滑な運営に向けて、利用者支援方法や施設管理事務等の後方支援を事業者に実施します。	①現地での利用者支援引継ぎの実施 ②運営状況確認のための連絡会議の実施回数	①引継完了 ②10回								
3	ひかり療育園の事業理念を引き継いだ孤立障がい者対策の推進	個別計画	孤立障がい者の実態把握調査の手法を検討し、調査と支援を実施します。	調査と支援の実施	調査と支援の実施								
4	障がい者支援センターと相談支援事業所等の連携の促進	個別計画	障がい者支援センターと相談支援事業所等の連携の促進を行います。	障がい者支援センターが各地域の相談支援事業所等と連携を深めるための「障がい者支援センターネットワーク会議」の実施回数	10回								
5	障がい者支援センターの円滑な運営の支援	個別計画	障がい者支援センターのサービス品質の向上や関係機関との連携の強化のため、各地域障がい者支援センター等が一同に会する業務研修会、事例検討会を開催します。	①業務研修会開催回数 ②事例検討会開催回数	①6回 ②2回								

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
6	業務の効率化	—	業務工程の見直しなど、業務を効率化するための取組みを実施します。	業務の効率化に取り組んだ件数	3件								